

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名：ひだか 日高自動車道（一般国道235号） あつがしずない 厚賀静内道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局	
起終点：自：ほつかいどうさる ひだか みはら 北海道沙流郡日高町字美原 至：ほつかいどう ひだか しん しずないかみもり 北海道日高郡新ひだか町静内神森	延長：16.2 km		
事業概要：日高自動車道は、苫小牧市を起点とし、浦河町に至る延長約120kmの自動車専用道路である。厚賀静内道路は、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び国際拠点港湾苫小牧港、拠点空港新千歳空港等への物流効率化等の支援を目的とした、日高厚賀インターチェンジから静内インターチェンジ（仮称）に至る延長16.2kmの事業である。			
H7年度事業化	H一年度都市計画決定 （H一年度変更）	H23年度用地補償着手	H23年度工事着手
全体事業費	約678億円	事業進捗率	約52%
			供用済延長 0.0km
計画交通量	11,000～11,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.3 (残事業) 3.4	総費用：(残事業)/(事業全体) 264/682億円 事業費：228/645億円 維持管理費：36/36億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 888/888億円 走行時間短縮便益：782/782億円 走行経費減少便益：83/83億円 交通事故減少便益：23/23億円
感度分析の結果	事業全体および残事業について感度分析を実施		
	【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.3～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.4（事業期間±20%）	【残事業】交通量：B/C=2.9～3.9（交通量±10%） 事業費：B/C=3.1～3.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.3～3.5（事業期間±20%）	
事業の必要性及び効果	①畜産品の流通利便性向上 ・迅速かつ一定速度で走行できる安定性の高い輸送ルートが確保されることによって、軽種馬の流通利便性向上が期待される。 ②農産品の流通利便性向上 ・日高自動車道の延伸による速達性・安定性の高い輸送ルートの確保は、農産品の出荷拡大や地域雇用増進にも寄与していることから、更なる農産品の流通利便性向上が期待される。 ③水産品の流通利便性向上 ・速達性及び安定性の高い輸送ルートが確保され、道内外へ出荷される水産品の更なる流通利便性の向上が期待される。 ④災害時の緊急輸送ルートの強化 ・津波浸水想定区域を回避することで迅速かつ効率的な道路啓開が可能となり、緊急時の避難や迅速な救急搬送、救援物資等の輸送ルートの強化が期待される。 ⑤救急搬送の安定性向上 ・苫小牧市等の医療施設までの所要時間が短縮されるなど、高次医療施設への救急搬送の安定性向上が期待される。 ⑥観光地への移動利便性向上 ・日高管内や十勝地域の観光地との連携強化が図られるなど、主要観光地への移動利便性向上が期待される。 ⑦移住・交流人口の拡大による地方創生 ・速達性及び定時性の高い道路ネットワークが確保されることで、移住・交流人口が拡大し、地方創生の支援が期待される。		

